

公表

令和7年度 事業所における自己・保護者評価総括表

haguすその

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス haguすその		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の充実 保護者支援 (パーソナルケアの充実)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1対1の関りを必要とする児童との時間を丁寧に過ごす ・ 独自のプログラムで職員の資質向上、支援の充実を図る ・ 子育ての主役は保護者様を念頭に支援を行う ・ 一人ひとりの様子を記録、口頭でより詳しくお伝えする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング ・ 家族支援、子育てサポートの更なる充実
2	専門的支援従事者の充実	言語聴覚士・作業療法士・理学療法士による専門性のある支援と、生活習慣を共に伴走する保育士・児童指導員の支援とを融合させ、すべての児童に必要な支援を提供している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門性の知識の共有。 ・ 社内外のスキルUP研修
3	小集団から始めるコミュニケーションスキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ SST ・ 小集団遊び ・ 協調性を必要とする行事の実行 ・ 振り返り習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の場の充実 ・ 参観・運動会等のイベントで取り組んだことの発表をすることで児童職員共に自信をつけていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ミーティング等の話し合いの時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多機能型による時間の確保 ・ 業務体制が不明瞭 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児発利用を9:00-13:00の変更 ・ 土曜日の支援を月に1~2回、12時までとし、そこから3.5時間の職員会議を行い情報共有、アセスメント会議、計画、振り返り等を行っていく ・ 業務体制の構造化
2	地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を巻き込んだ活動を実践できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練や日常の働きかけを職員全体で意識した関りを実践していく ・ 他事業所との連携や活動を積極的に取り入れていく
3	行事やお知らせの伝え方・周知の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ おたよりの内容が希薄化している ・ 周知の重要性の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事に対しての年度初めの周知、3か月前とひと月前のリマインドをかける ・ 避難訓練や安全対策の透明化